

自動車関連技術講演会

—最新技術開発動向—

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて自動車関連技術の特別講演会を開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日時：平成30年1月12日（金）13：30～17：00

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階）

◆定員：35名

◆参加：無料

（申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、事務局アドレスへ送信下さい。

■講演会スケジュール：

—13:30～14:30

「エンジン研究に関する企業—大学—産総研の連携の現状」

武田 好央（産総研 省エネルギー研究部門 エンジン燃焼排気制御グループ

招聘研究員）

【要旨】国内で進められている産学連携のうち、内燃機関（エンジン）研究の代表的なものとして、自動車用内燃機関技術研究組合（AICE）と戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「革新的燃焼技術」がある。これらを説明すると共に、産総研の関わりを紹介する。

—14:30～15:15

「ディーゼルパーティキュレート酸化触媒の研究開発動向」

内澤 潤子（産総研 省エネルギー研究部門 エンジン燃焼排気制御グループ

研究グループ長）

【要旨】ディーゼル車から排出される粒子状物質（PM）対策技術として、ディーゼルパーティキュレートフィルタ（DPF）の使用が拡大している。これに伴い、捕集されたPMの焼却すなわちDPF再生をできる限り低温で行うための要素技術として、高性能なPM酸化触媒開発への期待が高まっている。本講演ではどのような触媒が研究開発されてきたかを紹介する。

—15:15～15:30 —休 憩—

—15:30～16:30

「内燃機関用先進着火技術としてのレーザー点火と今」

高橋 栄一（産総研 省エネルギー研究部門 熱流体システムグループ

上級主任研究員）

【要旨】従来のスパークプラグに代わって、パルスレーザー光を集光して形成されるブレイクダウンプラズマによって燃料予混合気を点火する「レーザー点火」技術について現状と課題、今後の展望について述べる。

—16:30～ 総合討論、名刺交換 （17:00 終了予定）

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL: 052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

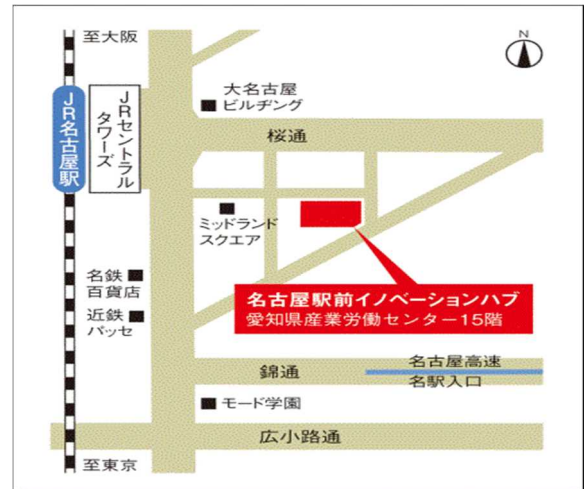
住所 : 〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38

愛知県産業労働センター 15階

(愛称: ウィンクあいち)

※名古屋駅より徒歩5分



産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 平成29年度特別講演会

「自動車関連技術講演会」

(平成30年1月12日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
連絡先	TEL	E-mail:	
住所			

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。